山口県学童保育連絡協議会機関誌　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　201８年１２月1０日

**山口県学童保育連絡協議会ニュース NO.２９**

発行:山口県学童保育連絡協議会　〒742-0424　岩国市周東町差川８０３

　　　 FAX　083(265)6718　　メール　yamaguchikennrennkyou@ab.auone-net.jp

出前研修会を宇部市で実施しました

　　11月7日(水)に宇部フロンティア大学で出前研修会を実施しました。参加者は宇部市の支

援員さんたちです。学童保育の役割と支援員の専門性と倫理について講義を行いました。今年

度は多くの自治体から研修会の依頼があり、県内では学童保育の質を引き上げていこうとする

動きが活発になっています。

学童保育の基準緩和

報道等でありましたが、学童保育職員についての「放課後児童支援員資格」「支援の単位ごとに支援員を2名配置」の二点が「従うべき基準」から「参酌すべき基準」へと変更になるようです。一部報道では「学童保育の基準がなくなる」といった表現でしたが、基準がなくなるわけではありません。しかし、学童保育の質の拡充のために引き続き働きかけは必要です。

「運営指針」を軸にして「子どもを中心」に学童保育を運営する

学童保育は「子どもの権利条約」の理念を基にして、放課後の子どもの自由世界が保障される場です。支援員は子どもとどう関わっていくのか、家庭をどう支えていくのか常に振り返りながら実践を積み重ねていくことが大切です。

**Q、学童保育の仕事って子どもを見ているだけでいいんですか？**

Ａ、支援員さんのあるあるですが、学童保育の仕事をしたいと面接に行くと「子どもを見ているだけでいいので大丈夫ですよ」と言われたなどという話があります。しかし、支援員としての仕事は決して子どもを見ているだけではありません。

学童保育の大きな目的に「子どもの健全育成を図る」ということがあります。健全育成を図るために、子どもの思いや背景を理解して受容しながら現実との折り合いを考え、放課後の生活をつくります。ちょっとした子どもの変化を把握して記録し、支援員同士で共有して子どもの関りを深めていきます。支援員がこう言ったら、子どもはどう思うのか？そんなことまで振り返りながら、一人ひとりの育ちを保障するのです。さらには家庭との連携、地域や学校との連携なども仕事です。そして、日々関わる子どもたちの豊かな生活を保障するために常に学び続けることも大切です。学童保育の仕事は見ているだけの仕事でない、奥の深い仕事といえるのです。

**第16回山口県学童保育フォーラム　2月24日(日)　開催します！！**

案内が完成しましたので、自治体経由等で各学童保育所に配布予定です